

平成 29 年度 学校経営方針

～ 仕上げの時 鮮やかなフィナーレを ～

1. はじめに

本校は開校以来63年間、教職員の教育に捧げる情熱と献身的な取り組みと、家庭・地域社会との連携・協力によりゆるぎない信頼を確立し充実・発展して参りました。

今年度は、十中最後の年であり、これまでの蓄積を生かし職員が一体となって一層充実した教育活動を実施し、教育目標「将来をみつめ『学び考える力』『自他を大切にできる心』『たくましく生きる力』の育成」を具現して参ります。

本年度も、「凡事徹底」を学校スローガンとして、確かな学力の定着及び豊かな心の育成、並びに十中十箇条の体現を重点課題とし、教育活動を実施していきたく思います。

教育活動の成果をあげるためには、本校が組織体としての機能を十分に発揮しなくてはなりません。そのためには全教職員が学校運営に積極的に参画する必要があります。出会いを大切に、明るく楽しい、意欲と活気に満ちた第十中学校となるよう経営方針の具現に努めて参りたいと考えております。

2. 教育目標

将来をみつめ、
「学び考える力」「自他を大切にできる心」「たくましく生きる力」
を育てよう

3. 目指す学校像

- (1) 生徒にとって、魅力ある楽しい学校
- (2) 保護者・地域から信頼される学校
- (3) 教職員が働く喜びを感じる学校

4. 目指す生徒像

- (1) 明るくあいさつをする生徒
- (2) 希望の実現に努力する生徒
- (3) 何事も誠実に実行する生徒

5. 目指す教師像

- (1) 生徒の夢の実現を支援する教師
- (2) 生徒と共に汗と涙を流せる教師
- (3) 生徒、保護者から信頼される教師

6. 経営の重点

- (1) 確かな学力の定着
 - ① 授業の工夫・改善に努める。
 - ② 基礎・基本の定着を図る。
 - ③ 学習規律の徹底を図る。
 - ④ 学習習慣の定着のために組織的な支援を行なう。
 - ⑤ 評価の客観性・妥当性を確保し、適正で信頼される評価を実施する。
 - ⑥ 放課後・定期考査前・長期休業期間中等に組織全体で学習教室を実施する。

- ⑦ 生徒評価、保護者・地域評価を踏まえ学習指導の改善・工夫を図る。
- ⑧ 少人数指導やT T、学力指導支援員、各種ボランティアを活用し個に応じた指導の充実を図る。
- ⑨ 年間授業時数及び教科時数の確保に努める。
- ⑩ 小中連携教育を通して学びの連続性を構築する。

(2) 豊かな人間性の育成

- ① 組織的指導及び教員の率先垂範を通して基本的生活習慣の定着を図る。
- ② 生徒間、教員間、生徒と教員間のあいさつの励行を徹底する。
- ③ 生徒理解の深化を図り、いじめや不登校及び問題行動の未然防止に努める。
- ④ 家庭や地域及び関係機関等と積極的な連携協力を努める。
- ⑤ 物的環境及び言語環境を整備し、豊かな心の育成を図る。
- ⑥ キャリア教育と体験的活動の充実を図り、生徒の夢や希望の実現を支援する。
- ⑦ 自己理解を深めさせるために進路指導の充実を図る。

(3) 道徳教育の充実と規範意識の向上

- ① 教育活動全体を通じて生命及び人権尊重の心情や態度を育成する。
- ② あらゆる機会に社会規範を守る意識と態度を育成する。
- ③ いじめや暴力否定の教育を徹底する。
- ④ 道徳授業の充実と時数確保に努める。
- ⑤ ボランティア体験活動を奨励・推進する。

(4) 安全指導の充実及び体力向上教育の推進

- ① 心身を鍛え、明るく健康的な生活態度を育成する。
- ② 体力向上推進プランに基づいた体力向上計画を実施する。
- ③ 家庭や関係機関等と連携・協力して心身の健康づくりを推進する。
- ④ 全校体制による給食指導を継続実施し、食育の充実を図る。
- ⑤ 学校保健委員会を実施し、生徒の健康づくりを推進する。
- ⑥ 安全指導及び避難訓練等の充実を図る。

(5) 開かれた学校づくりの推進

- ① 学校情報の積極的発信に努める。
- ② 保護者・地域のニーズを把握し、教育活動へ反映させる。
- ③ 土曜授業公開等を活用し開かれた学校づくりを推進する。
- ④ 保護者・地域の学校への要望・苦情へは組織的かつ迅速・誠実な対応に努める。
- ⑤ 家庭や地域社会の教育力を活用し、外部機関と積極的と連携する。
- ⑥ 生徒・教職員のP T A活動や地域行事への積極的な参加を推進する。

(6) 学校組織力の向上

- ① 全職員が学校運営への参画意識の向上に努める。
- ② 全職員が学校課題への組織的・積極的・迅速的確な対応に努める。
- ③ 事案決定システムを適切に実施する。
- ④ 情報管理を一元化し、個人情報への流失防止に努める。
- ⑤ 全体の奉仕者としての服務規律の確保を徹底する。
- ⑥ 自己の職務目標達成のための具体的手だての策定及び実施・改善・検証に努める。
- ⑦ 教師としての資質向上・能力開発のために積極的に自己研鑽を行う。